

私保達しまね

No.52

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



Contents

- 特別寄稿・・・・・・・・・・・・・・2
- キャリア先生の紹介・・・・・・・・6
- こんな活動やってます・・・4
- 令和3年度各部活動報告・・・8

木のぼり大好き!! きょうは何で遊ぼう?



♪この木なんの木～♪

久利保育園の自慢はシンボルツリー「ヤマモモの木」です。子どもたちは小さい頃からこの木が大好きで親しんで登っています。

時には近くの山から飛んで来た野鳥のさえずりを聞くこともできます。

また、ヤマモモの木が子どもたちの発想でバスになったり、汽車になったり、基地や家にも変身したりと遊びがどんどん広がり楽しんでいきます(^^♪

大好きな「ヤマモモの木」と共にすくすく育っている「くりっ子」です。

久利保育園
園長 佐々木伸子



特別寄稿

人口減少・少子化に関する
子育て支援の現状と今後について

島根県健康福祉部 部長 小村浩二

保育団体の皆様には、子育て支援施策の推進に多大な御支援と御協力を賜り、感謝申し上げます。

私が健康福祉部長に就任した令和2年は、中国で新型コロナウイルスが発見され、瞬く間に全世界に拡大しました。国内でも1月に感染症例が確認し、全国に急速に拡大し、緊急事態宣言が発令される、といった激動の時期でした。その後、ウイルスの変異や感染拡大の大きな波を何度も繰り返す中で、「マスクの着用」「手指消毒の徹底」「三密の回避」など国民生活様式は一変しました。

施設の上、密が避けられない保育施設においては、日々、眼には見えない

ウイルスという脅威に、感染防止の観点からマスクの着用や手指消毒、保育施設への立ち入りの制限、行事の縮小を行うなど、難しい対応をされてきたことと思います。このような中においても勤務する保育士、保育教諭の皆様は感染拡大防止に苦勞されながら、社会機能維持に大変ご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、少子高齢化が進行する中、全国的に出生数は減少しております。島根県の合計特殊出生率は、全国的には高い水準を維持しているものの、人口を維持できる水準にはないのが現状です。一方で、島根県においては女性の就業率の高

さから、保育所・こども園に入所を希望するお子さんの数は高い水準で推移してきました。

都市部を中心に課題であった待機児童問題ですが、島根県においては、市町村において量的拡充に取り組みされた結果、令和元年、令和2年と年度当初の待機児童数は0人となり、年度中途の10月における待機児童も減少傾向が続いています。その一方で、待機児童数に計上されない、潜在的な待機児童は毎年一定程度発生している地域もあり、保育を希望する子どもの全てがサービスの提供を受けられてなかったり、その反面では、地域によっては入所児童数が20人を下回り園

運営に苦慮する施設もあり、保育をめぐ
る状況は地域によって違いがある現状で
す。

国においては、地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会が開催され、取りまとめられた意見を受け、今後の取り組みが検討されることとなっております。保育所等は、未就学児童に良質な保育を提供するため、若い世代が地域で暮らしていくために、社会インフラとして重要な役割を担っており、必要不可欠なものです。地域による保育サービスの提供体制に違いが見られるところではありますが、保育を必要とする人が、必要とする場所でサービスの提供を受けられるよう、今後どのように保育所等を維持していくかが課題となってくると考えています。国における検討状況を見定めながら、市町村とも意見交換を重ねながら、島根県としてどういった対応ができるか検討していきたいと考えております。

保育現場においては、業務の多忙や負

担の増加、全産業と比較した賃金の格差など職場環境には改善すべき点が多くあります。このたび、国の令和3年度補正予算において、保育士等の賃金の引き上げが予算措置されることや、令和4年度予算案では処遇改善の効果を継続させるための公定価格の見直しも見込まれているところであり、保育士等の処遇が改善されることが期待されることではあります。県としては、今回の国の対応の効果などを見定めながら、引き続き、国に對して必要な要望を行ってまいります。

また、国においては、子ども関連政策を一元的に担う新しい組織「こども家庭庁」の創設がすめられており、子どもを取り巻く諸課題に迅速に対応するといふものである。地方の声にこたえ、幼児教育の質の向上をはかる統一的な施策が立案されるなど、実効性のある組織となることを期待するところであります。

保育所における「保育」とは、単に子どもを「預かる」ことではなく、「養護」と「教育」を一体的に行うことであり、

保育所保育指針の解説においては、「養護と教育を一体的に展開することは、保育士等が子どもを一人の人間として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ、乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助すること」とあります。そのためには、保育士の皆さんが専門知識と技術をもって児童の保育や児童の保護者に対する保育に関する指導を行うとともに、日々の保育を通じた自己省察や、保育所内外の研修による自己研鑽を重ねることが重要となります。

基本目標に「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げている島根創生計画を着実に実施するには、保育関係者の皆様のお力添えなくてはできません。そのため、市町村と協力しながら保育環境の充実を図っていききたいと考えております。

結びに、島根県私立保育園連盟の皆様の方のますますの御発展とご活躍をお祈り申し上げます。



楽しい!大好き!運動遊び

隠岐共生学園第一保育所
所長 名越 絵美

隠岐共生学園第一保育所は坂の上にあります。その立地を活かし、子どもたちは、保育所前の坂を思いきりダッシュする“坂道ダッシュ”が日課となっています。他にも、年齢に応じた遊び方や遊具を使ったサーキット遊び(運動遊び)を楽しんでいます。自分から体を動かすことが楽しい!大好き!と感じてほしい、そして、小さなケガはしても、大きなケガにつながらないようにと願い、0歳児~5歳児まで毎日継続して行っています。

子どもたちはマットをみると、自ら四つんばいでくまさん歩きをしたり、友だち同士で手をつなぎながら寝転がったりしています。また、鉄棒では、ぶらさがりや前回りなど、思い思いに体を動かして遊んでいます。

保育者は、子どもたちのそばで遊びを見守り、頑張ったところは「手がしっかりのびているね」など、具体的な言葉をかけたり、ハイタッチをしたりして喜びや楽しさに共感しています。

毎日、サーキット遊びを楽しみながら継続する中で、繰り返し“やってみたい!”という思いが生まれ、一人一人が自分の目標をもって取り組んでいます。その思いが、運動遊びの時だけでなく、他の遊びや活動での意欲につながっているように感じます。また、続けることで体幹が鍛えられ、転んだ時には咄嗟に手がつけるようになり、大きなケガは少なくなりました。

子どもたちが、自ら主体的に運動遊びに取り組むことで、心身ともにたくましく育っていることを実感しています。これからも、保育者も一緒に楽しみながら継続していきたいと思っています。

黒いじゅうたん

(認) みどり保育園
園長 岩倉 善光

私たちの住む大田市宅野町は、古くから上質なわかめが取れる産地として有名でした。春には、板わかめの天日干しによる「黒いじゅうたん」が浜辺の風物詩として広がっていました。

当園でも、春の暖かな陽光の下で、園庭に竹の「簾(すだれ)」を敷き、地元で刈取られたわかめを子ども達が磯の香を楽しみながら並べて干し「黒いじゅうたん」を作ります。

板わかめは山陰地方の伝統的な食品であり、初夏の食べ物として家庭の食卓を飾ります。天日干しなので栄養成分が壊されず、栄養面でも優れているとも言われ、わかめ本来の風味を味わえます。

出来上がったパリパリの板わかめを手で揉み、ほかほかのご飯に振り掛けると、一層磯の香りが漂います。ご飯と一緒に食べると、塩気がほどよく効いた板わかめの風味が口の中に広がり、いつも以上に食が進み笑顔が溢れます。

しかし、この数年で地球環境の変化や人口減少・高齢化の影響により後継者不足も重なり、地物のわかめが取れなくなってきています。子ども達は毎年当たり前のように、春のわかめ干しをしていますが、数年後には出来なくなるかもしれません。

いつまでもこの当たり前が続くように、海を綺麗にすること、自然を守り大切にすることをどのようにしたら良いか食育を通し考え、故郷の景色・味・香りを伝え残していきたいと思えます。

こんな活動

やっています



第3ブロック

江津市／(認) あさりこども園
佐々木三枝子 先生

あさりこども園のキャリア先生を紹介します。
居てくれるだけで安心感のある、職員にとってもお母さん的な存在の「佐々木三枝子先生」です。現在、あさりこども園の子育て支援センター「わくわく広場」の担当をしています。

子育て中の方の相談を受けたり、子育てをする方がリフレッシュできるようなイベントを行ったり、地域とのつながりを深める仕事をしています。笑顔がとても素敵で、笑い声も大きくて、周りの人を元気にしてくれます。わくわく広場にいられた方も、三枝子先生
そのその安心感のある雰囲気、悩みも相談しやすいようです。三枝子先生が「大丈夫だ～ね～」と言ってくれると、本当に大丈夫な気がしてきて、心が軽くなります。私たち職員にとっても同じで、アハハ！と笑っている先生にいつも元気をもらっています。先生自身、辛いことも、しんどいこともあると思います。でも、職場ではそんな姿は見せません。もっと見せてもいいと私は思うのですが…。頑張っている先生を私たちはみんな尊敬していますし、何かあれば支えになりたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

(副園長 池村裕美)

あさりこども園の支援センターのイベントで、「楽しかった!」という言葉が聞けるように色々考えていきます!



第4ブロック

益田市／(認) 神田保育園
豊田 美鈴 先生

認定こども園神田保育園のキャリア先生を紹介します。子どもたちからは「みすず先生」と呼ばれ、職員からは「みすずちゃん」と親しみを込めて呼ばれています。とても明るくおもしろいことばかりするみすず先生は、子どもたちからも職員からも絶大な人気で、出勤するや否や子どもたちが全身で飛びつき、「おはよう!」の代わりに手厚いスキンシップ!! どの子も分け隔てなく丸ごと受けとめるその姿は、本当に懐の深さを感じます。現在0歳児の担任として、子どもたち一人ひとりに合わせたきめ細やかで優しい言葉かけや関わりを心がけながら、子どもたちの育ちを支えています。また、現在未満児クラスのリーダーとしても大活躍!! 職員一人ひとりとコミュニケーションをとりながら、その人の良い所に目を向け、みんなが気持ちよく働けるようにいつも気を配ってくれています。とても話しやすく、誰の話も親身になって聞いてくれるので、保護者はもちろん、職員からの信頼も厚いです。

現在コロナ禍でもあり、行事や保育内容も様々な部分を見直したり、検討したりすることが多くなっています。子どもにとってより良い保育、行事になるよう、みすず先生の明るさとユーマーを中心に、職員それぞれが知恵を出し合い、新しい形を作り上げていけたらいいなと思います。これからも一緒に頑張りますね!!

(主任保育士 藤井 初美)



「かわいい子ども達からパワーをもらって、頑張ります!!」

キャリア先生の紹介

第1ブロック

安来市／やすぎ保育園
中山 貴保子 先生

やすぎ保育園のキャリア先生として中山先生を紹介します。

中山先生に聞けば事務的な事だけでなく、保育園に関わる事ならほとんどの事を答えてくれます。「中山先生、これはどこで買いましたか?」「これは、〇〇くらい前に〇〇で、〇〇くらいの値段で買ったと思いますよ。」「こんな感じの物が欲しいんですけど、どこにあるのでしょうか?」「このカタログは〇〇みたいな感じですけど、こっちのカタログにも似たような〇〇がありますよ。」職員みんなが、中山先生を頼りにしています。

また、中山先生は子ども達にも人気の先生です。「なかやませんせ～い、がんばって食べるからみてて～」「じょうずに踊れるようになったから、みててね」「は～い、見てるよ～」子ども達に優しい笑顔で答えておられます。

やすぎ保育園を支えてくれている保育、食育、事務の三本柱のうちの大きな1人です。やすぎ保育園のコンセプトは「笑顔あふれる保育園」です。そして、事務室の部屋のマークは「たいよう」です。事務室から太陽のような明るい陽を出して、笑顔あふれる保育園と一緒にいきましょうね。
(園長 米田 邦子)



「毎日子ども達の笑顔にかこまれ、楽しみながら、仕事を頑張っています。」

第2ブロック

出雲市／浜山保育園
北村 由紀子 先生

浜山福祉会 勤続18年の北村由紀子保育士を紹介します。

北村保育士のストロングポイントの中から、今回は『体操のプロ』の姿をお伝えします。

北村保育士は、幼小期～学生時代、器械体操に没頭し、日々、厳しい練習と向き合い、鍛錬を重ねてきました。卒業後は、体操教室を全国で運営する会社に専任講師として就職し、子供たちを中心に体操指導を長年に渡り行ってきました。その後ヘッドハンティングされて浜山福祉会に就職し今に至ります。

北村保育士の器械体操姿は見惚れるほど美しく、身体のバネもバツグンです。本人は「我が子を残して死にたくない」と言って嫌がりますが、運動会では恒例となったバック転を毎回華麗にきめてみせ、子供たちと保護者からやんやの喝采を浴びています。園長から「バック転失敗で死亡した場合は労災になるから」と、マジメに言われてぶちギれていたのも今となっては良い思い出です。

現在は、これまでの経験と実績を活かし、子供たちの運動能力の向上や、体幹を鍛えるために必要な毎日の活動作りに尽力しています。「この年齢での鉄棒はこの内容にチャレンジ」「マット運動はこの事を目標とする」など具体的な適切な指導法を他の職員にアドバイスする事を担っています。

保護者からは「北村先生に体操や跳び箱、鉄棒などを教わり、運動の基礎や体幹の強さが我が子に身に付きました」などの喜びの声が毎年たくさん届きます。

浜山保育園代々伝統の目標『5歳児 学童用の跳び箱8段クリア!』に向け、未満児時代から何年もかけて基礎作り、体幹作りを積み重ね、今日も奮闘している北村保育士です。(主任保育士 若林 実有紀)



子供たちの運動能力は無限大! 伸び盛りの今だからこそ、面白い運動と一緒に楽しんでいきたいです!

予算対策部 令和3年度活動報告

部長 板木 厚典

福利厚生充実による優秀な人材確保と
職員の皆さまに安心して働いていただくために

職務災害トータルプラン

(業務災害総合保険)



- 特長1** 業務中や通勤途上のケガを職員の人数に関係なく補償します。
- 特長2** 保育園の職員全員を無記名で補償します。
※パート、アルバイト、派遣職員も補償できます。
- 特長3** 職員の増員・入れ替わりも自動的に補償します。
※年間総収入による保険料で、人数の報告・精算などは不要です。
- 特長4** 労災事故の賠償金や訴訟時の弁護士費用を最大5億円まで補償できます。
※長時間労働等による精神障害や過労リスクにも対応できます。
- 特長5** 病気による入院の補償や、加えて、がん通院の治療費補償もセットできます。



お子さまの成長を安心して見守るために

キッズガード

「園児総合保障制度」(こども総合保険)



- 特長1** 団体割引適用 約65%割引 (加入者5万名以上の割引率)
保育園が窓口の団体加入制度だから、団体割引・損害率による割引が適用されています。
- 特長2** 24時間補償 ケガによる入院・通院は1日目から補償
ケガによる入院・通院など、園児をとりまく様々なリスクに対応した保障制度です。
- 特長3** ご家族の賠償事故も対象 国内示談交渉サービス付き
個人賠償責任補償は園児とご家族が対象です。
- 特長4** お電話一本でお支払い 簡単支払特急便
ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は、お電話一本で保険金をお支払いします。
※ご利用にあたっては所定の条件があります。



引受保険会社
AIG損害保険株式会社 山陰支店 〒690-0006 松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
TEL: 0852-26-2781 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

※この広告は保険商品の特長をご案内したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧ください。弊社までお問い合わせください。

B-210096

●全国私立保育園連盟予算対策会議

令和3年6月8日(火)
令和3年度第1回予算対策会議

令和3年10月12日(火)
令和3年度第2回予算対策会議



●保育三団体

令和3年7月29日(木)
島根県保育三団体代表者会議

令和3年8月24日(火)
県子ども・子育て支援課との意見交換

令和3年9月24日(金)
文教厚生議員連盟総会における要望内容の説明
保健・医療・福祉部会における要望内容の説明

令和3年10月22日(金)
県知事への要望
県議会議長への陳情
県健康福祉部長への要望



●予算対策部

令和3年8月13日付 島根私保連加盟園宛 文書送付
令和3年8月16日付 保護者宛文書送付
カンパ金額 876,627円
請願署名数 16,861名

令和3年12月13日(月)
島根県選出国会議員への要望内容説明



今年度も会員皆様のご意見をいただき、国、県への要望案を保育三団体へ出させていただきました。

内容としては、急務である人口減少及び少子化への対策、小規模保育所の経営基盤強化、保育の質の担保に関わる最低基準の改善、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策等、よりよい保育環境構築のために活動を行いました。

研修部 令和3年度活動報告

部長 須谷 紀子

今年度は、初の取り組みとして保育士等キャリアアップ研修を、感染防止対策をとりながら下記の通り実施しました。

参加者の皆様には体調を整えたくさんのご参加をいただきありがとうございました。

【保護者支援・子育て支援】 講師 島根大学大学院 教授 原 広治 氏

令和3年7月19日・20日・21日 於 パルメイト出雲 参加者51名

保護者支援・子育て支援に関する理解を深めるために、様々な演習の中で討議を繰り返し行いました。誠意ある傾聴姿勢が相手に与える印象に影響するなど実践を通して感じ取ることができました。信頼関係の構築が、子育て中の保護者が抱える悩みやデリケートな相談に適切な助言や支援に重要なことであることが認識されました。

保育士・看護師・事務の多職種の受講者がグループ討議に熱心に取り組まれ好評でしたので、来年度も引き続き計画したいと思います。

【マネジメント】 講師 島根大学大学院 教授 原 広治 氏

令和3年8月27日・28日・30日 於 パルメイト出雲 参加者30名

マネジメントの重要性を、様々な演習を通して組織として大事な役割であることを認識し、責務を全うするために必要な能力を習得しました。多職種との日々の連携がいかに必要か、課題を解決する手立てを丁寧に書き出し、考えを整理することなどの確かな判断につなげるために筆記が重要であることを認識しました。グループ討議では他者の意見を傾聴し自園の気づきにつながり専門機関との連携状況を再確認するなど、円滑な運営と保育の質を高めるために必要な様々な役割、リーダーシップの能力について丁寧に講義いただきました。



編集後記

「私保連しまね52号」をお届けします。お忙しい中、執筆等にご協力を頂いた先生方に心より感謝申し上げます。さて、前は夏のオリンピック、今回は冬のオリンピックがありました。競技後のアスリートの笑顔や涙は本当に美しく、感動の連続です。現場においては、新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えない中で、日々目まぐるしく変わる情勢に対応しながら、保育に取り組んでおられる事と思います。春はもうすぐですね。子ども達と、とびきりの笑顔で過ごせる日を想いながら、さあ、今日も元気で頑張りましょう！ (仁摩保育園 高橋 祐子)

青年部 令和3年度活動報告

部長 岩倉 善光

平素から青年部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

令和3年度は、2月12日(土)に出雲市朱鷺会館に於いて、島根大学大学院教育学研究科 原 広治教授をご講師にお招きしての全体研修会を行う予定でしたが、年明けから新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大してしまった為に、参加者・関係者の健康面・安全面を最優先すべきと判断し中止と決定させていただきました。

オンラインでの開催も検討をしましたが、青年部の全体研修会はやり取りを重視する演習形式としており、活発に意見や悩みを交わしてもらおうといった内容である為、リモートでは本研修の良さを発揮する事は出来ないと考え苦渋の決断となりました。

今年度の反省を糧とし、この度開催出来なかった全体研修会を、改めて次年度早期に開催をしたいと考えております。先生方の保育へと向かう姿勢がより高まる事を信じ、今後も役員の先生方と共に盛り上げ共に成長していきたいと思っております。

末筆ではございますが、青年部部长と島根私保連事務局を兼任させていただき、今年度も加盟施設の先生方へは沢山のご迷惑をおかけしてしまいました。島根私保連会員の皆様のご理解とご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます。令和3年度の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。



調査部 令和3年度活動報告

部長 植田 智子

5月18日(火) 令和3年度 第2回 理事会にて
専門部への所属任命
・顧問：山崎央輝 部長：植田智子 副部長：小松陽子

8月26日(木) 全国調査部長会議(WE B開催)～植田参加
・情勢報告 全私保連常務理事 丸山純氏
・全私保連調査部報告 部長 齋藤勝氏
「みんなで考えるこれからの保育実習調査」について
「新型コロナウイルス感染症に関する調査2021」について

10月4日(月) 島根私保連「各園の新型コロナウイルスに関する現状調査」(しまね)
～18日(月) ～(回答率78.1%)
※調査報告については島根私保連のホームページに掲載

多くの施設の皆様、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。来年度も有意義な調査活動になりますよう努めていきたいと思っております。



園および 園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。
公益社団法人全国私立保育連盟指定代理店である
(有)ゼンポでは、園経営はもちろんのこと、
園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん・ こどもえんのほけん

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険
(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」「
新型コロナウイルス等対応費用補償特約
(2021年4月以降)」など、
園経営における従来のリスクに加えて
新型コロナウイルス感染症にも対応する保険を
ご用意しております。

やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する
賠償リスクとレピュテーション(風評被害)
リスクに関する保険となります。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

〈連絡先〉

公益社団法人全国私立保育連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内

TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社

担当課：公務第二部 文教公務室 TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付費用・利益保険)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育園連盟)



私保連しまねNo.52

発行日/令和4年(2022)3月
発行者/会長 川上 雅文(荒茅保育園)

発行所/島根県私立保育園連盟
編集者/青木 豊美・高橋 祐子(広報部)

